



# 道農連 2020年10月の月間活動トピックス

2020(令和2)年11月 4日発行(第92号)

HP <http://donouren.sakura.ne.jp/> ☎011-241-5416

## 高収益作物次期作支援交付金の運用見直しに関する緊急要請を実施

中原浩一書記長と事務局長は10月21～22日、高収益作物次期作支援交付金の運用見直しに関する緊急要請行動を実施し、与野党農林関係議員や農水省生産局園芸作物課に対し、事業創設当初の目的の厳守や交付金の満額支払い及び万全な予算確保を求めた。

## 秋闘：米・水田農業対策中央行動を実施

道農連は10月29～30日、大久保明義副委員長(米・水田農業対策委員長)ら各地区代表11名で米・水田農業対策中央行動を実施し、持続可能な米・水田農業政策の確立に向けて農水省担当部局に要請した。

また、新型コロナ等の影響により米の需給緩和・価格下落が発生しており、今後も更なる米価暴落が危惧されていたことから、米の需給・価格安定に関する緊急要請を実施し、米価暴落を防ぐ緊急対策と米政策の見直しを自民党農業基本政策検討委員会の小野寺委員長や道選出等国会議員に求めた。

## 第5回執行委員会を開催

道農連は10月8日、第5回執行委員会を開催し、秋闘の基本農政対策及び業態別対策における提言項目について協議した。

秋闘の基本農政対策では、今後の取組みとして①種苗法改正案対策、②国際貿易対策、③2021年度予算決定に向けた対策の3点を重点に、各業態別対策の提言項目に盛り込みながら対応を図ることとした。

## 米・水田農業、畑作・野菜対策委員会を開催

道農連は10月21日に第4回米・水田農業対策委員会、26日に第3回畑作・野菜対策委員会を開催し、秋闘対策の政策提言項目を決定した。

米・水田農業対策では、今年産米の需給・価格安定に向けた緊急対策の構築と、来年产米以降の需給調整の実効性確保等を重点に求めることとした。

畑作・野菜対策では、米国産生馬鈴しょの輸入解禁反対や畑作構造転換事業の要件改善と十分な予算確保等を重点に求め、11月18～19日に中央行動を実施することとした。

## 10月の活動記録(上記以外)

- 5日 道農業再生協議会第1回水田部会
- 8日 三役会議
- 13日 合成洗剤追放北海道連絡会第1回運営委員会
- 14日 高収益作物次期作支援交付金説明会
- 16日 第2回てん菜・てん菜糖合理化検討委員会
- 20日 食・みどり・水を守る道民の会幹事会
- 27日 道農産協会てん菜原料受け入れ現地調査(～28日、十勝)  
道農業ジャーナリストの会第48回総会・研修会

## 11月の活動予定

- 5日 第3回酪農・畜産対策委員会
- 6日 日英包括的経済連携協定(農林水産品)に関する説明会
- 9日 全道書記長・事務担当者研修会
- 11日 道農産協会企画調整部会
- 17日 秋闘：酪農・畜産対策中央行動(～18日)
- 18日 秋闘：畑作・野菜対策中央行動(～19日)
- 20日 次世代を担う組織活動に関する研修会
- 27日 食とみどり、水を守る全国活動者会議

◎詳しくは、「北海道農村新聞」(年間購読料1,800円・税込)をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局(TEL011-241-5416)まで。